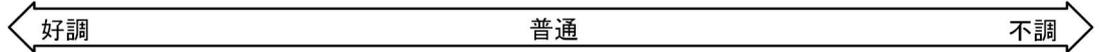


北区の景況

令和6年4月～令和6年6月期

調査対象 製造業 90社 小売業 55社
 サービス業 24社 建設業 35社
 調査方法 面接聴取法
 調査機関 (一社) 東京都信用金庫協会
 分析作成 (株)サーベイリサーチセンター

本概要版は、令和6年6月上旬に調べた区内中小企業の景気動向と、これから先の3ヶ月間(令和6年6～9月期)の予想をまとめたものです。



	A	B	C	D	E	F	G
製造業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
小売業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下
サービス業	15以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36以下
建設業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下

製 造 業	前期		業況DI (Δ11.6) は前期比8.6ポイント減と悪化傾向が再び大幅に強まった。全都 (Δ5.9) との比較では、2期ぶりに本区が5.7ポイント下回った。売上額と収益は前期並の悪化水準で推移したが、受注残は減少傾向が幾分弱まった。販売価格は上昇傾向が若干弱まり、原材料価格は前期同様の厳しい状況が続いた。資金繰りと借入難易度は前期同様変わらず推移した。設備投資を「実施した・予定あり」とした企業は前期から1.1ポイント増加した。
	今期		
	来期		

小 売 業	前期		業況DI (0.3) は前期比19.1ポイント増と大きく持ち直してわずかにプラスに転じた。全都 (Δ9.7) との比較では、本区が10.0ポイント大幅に上回った。売上額は大きく改善し減少に歯止めがかかり、収益は減少・減益幅が若干縮小した。販売価格は上昇幅が大きく拡大した。仕入価格はさらに上昇を強め厳しさが増した。資金繰りは窮屈感がかなり緩和したが、借入難易度は前期並の厳しさが続いた。設備投資を「実施した・予定あり」とした企業は前期の3.6%に対し今期は0%となった。
	今期		
	来期		

サ ー ビ ス 業	前期		業況DI (10.7) は前期比18.7ポイント増と大幅に持ち直してプラスに転じた。全都 (1.6) との比較では、本区が9.1ポイント高く、5期ぶりに全都を上回った。売上額は大きく改善しプラスに転じたが、収益は増加傾向がわずかに後退した。料金価格は上昇幅がかなり縮小し好調感が後退したが、材料価格は上昇がわずかに弱まったものの厳しさは続いている。資金繰りは窮屈感を脱し容易な状況となり、借入難易度も大幅に改善し厳しさがなくなった。設備投資を「実施した・予定あり」とした企業は前期から0.2ポイントの増加となった。
	今期		
	来期		

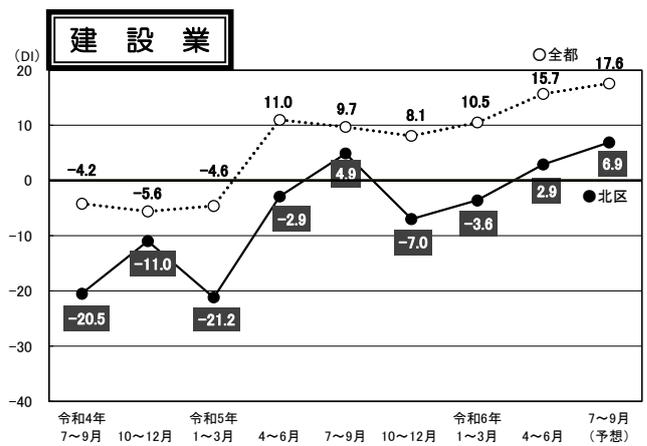
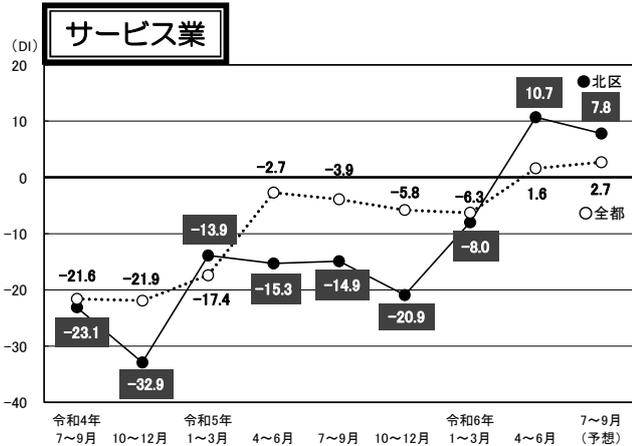
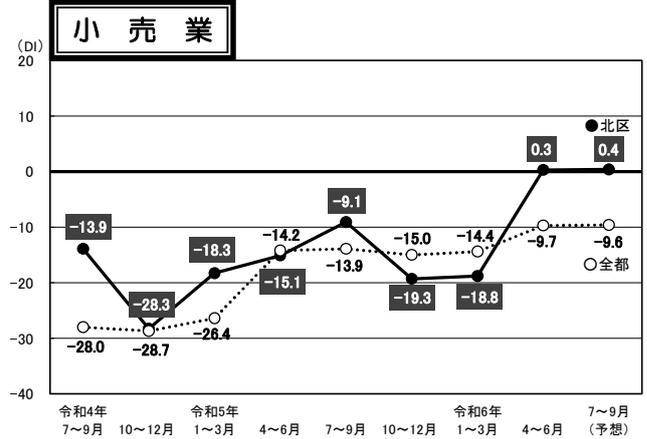
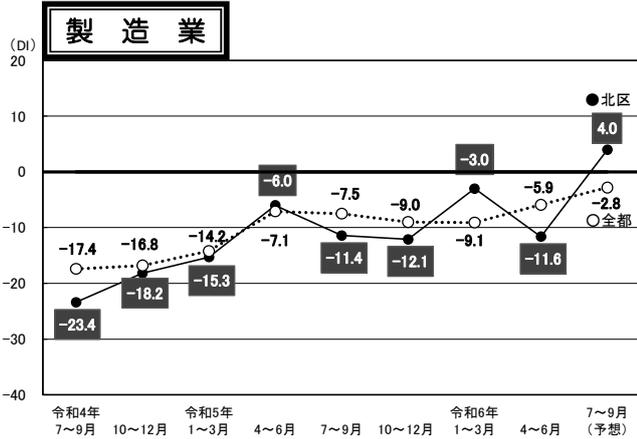
建 設 業	前期		業況DI (2.9) は大幅に改善しプラスに転じた。全都 (15.7) との比較では、本区が12.8ポイント下回っている。売上額は増加傾向を大きく強め、収益も大幅に改善し増勢に転じた。受注残は増加幅が多少拡大し、施工高も増加傾向が大幅に強まった。請負価格はさらに上昇し好調感を強めたが、材料価格は厳しさがさらに増した。資金繰りは前期同様の水準が続いたが、借入難易度は後退し容易さがなくなった。設備投資を「実施した・予定あり」とした企業は前期から6.1ポイントの減少となった。
	今期		
	来期		

※DI (Diffusion Index) とは

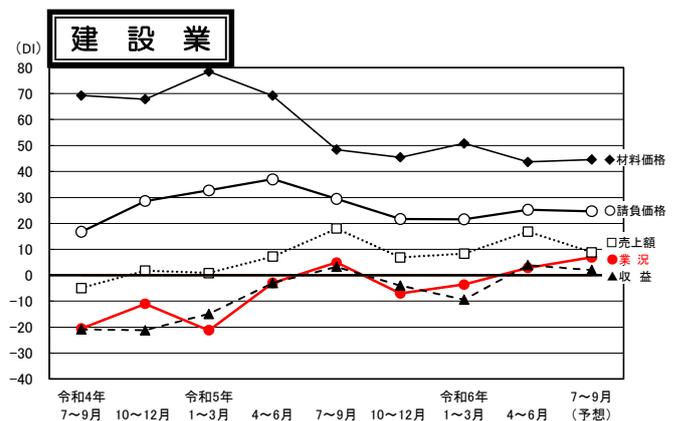
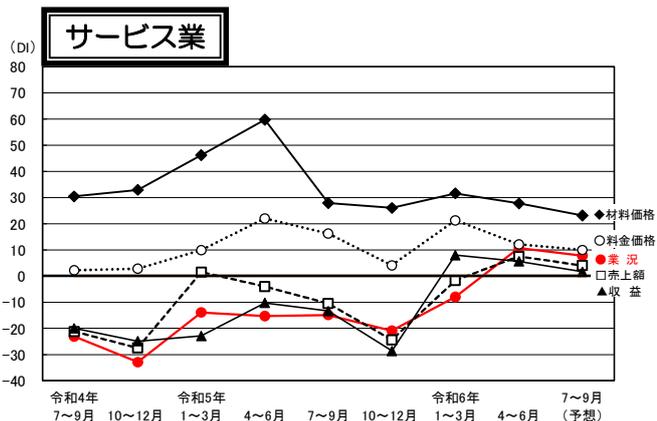
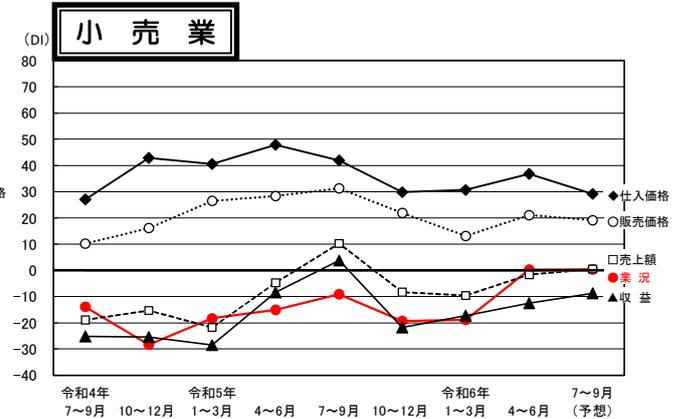
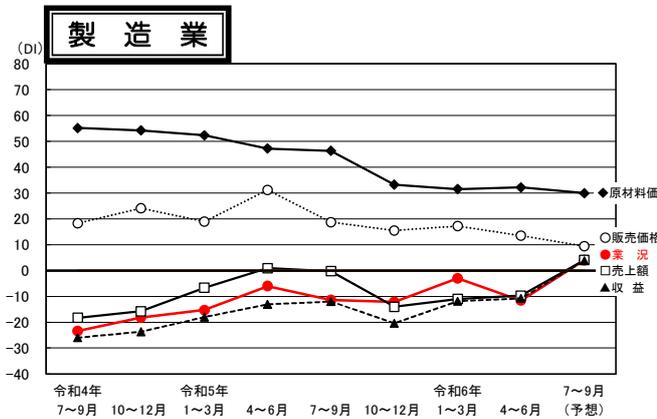
DI (ディーアイ) は、増加 (又は「上昇」「楽」など) したと答えた企業割合から、減少 (又は「下降」「苦しい」など) したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみよとするものです。

例: 「良い」28.7%、「どちらでもない」49.4%、「悪い」21.9% の場合 → 28.7 - 21.9 = 6.8 (=DI)

北区と全都の業況の動き（実績）と来期の予測



業況と売上額、収益等の動き（実績）と来期の予測



北区 業種別 経営上の問題点

製造業		小売業		サービス業		建設業		
上位項目	売上の停滞・減少	48.9%	売上の停滞・減少	38.2%	売上の停滞・減少	37.5%	人手不足	42.9%
	原材料高	36.7%	同業者間の競争の激化	30.9%	同業者間の競争の激化	33.3%	材料価格の上昇	37.1%
	利幅の縮小	20.0%	利幅の縮小	23.6%	材料価格の上昇	25.0%	売上の停滞・減少	25.7%
	同業者間の競争の激化		仕入先からの値上げ要請		店舗・設備の狭小・老朽化	12.5%	同業者間の競争の激化	22.9%
	大手企業との競争の激化 人手不足	11.1%	大型店との競争の激化	20.0%	人件費の増加 人手不足	8.3%	利幅の縮小 下請の確保難	17.1%

北区 業種別 重点経営施策

製造業		小売業		サービス業		建設業		
上位項目	販路を広げる	57.8%	経費を節減する	52.7%	販路を広げる	45.8%	人材を確保する	42.9%
	経費を節減する	54.4%	品揃えを改善する	30.9%			経費を節減する	経費を節減する
	情報力を強化する	16.7%	宣伝・広告を強化する	21.8%	宣伝・広告を強化する	29.2%	販路を広げる	34.3%
	人材を確保する	10.0%	売れ筋商品を取り扱う	20.0%	技術力を強化する	12.5%	情報力を強化する	31.4%
	新製品・技術を開発する	8.9%	商店街事業を活性化させる	12.7%			店舗・設備を改装する	技術力を高める

東京都の景況

<製造業>

業況は水面下ながらわずかに上向いた。売上額・受注残はわずかに増加に転じ、収益はやや改善した。業種別では繊維・衣服、一般機械、皮革関連が大幅に持ち直し、化学工業が大きく上向いた。価格面では販売価格は前期同様の上昇が続き、原材料価格はわずかに上昇傾向を強めた。

<小売業>

業況は水面下ながらやや改善した。売上額はわずかに好転し、収益は幾分持ち直した。業種別で見ると木材・建築材料、スポーツ用品・玩具、ガソリンスタンド・燃料が大幅に好転し、家具・建具・じゅう器、カメラ、時計・眼鏡が水面下ながら大きく改善した。価格面では販売価格、仕入価格ともにわずかに上昇傾向を強めた。資金繰りはやや厳しさが和らぎ、在庫は適正範囲が保たれている。

<サービス業>

業況は大きく好調に転じた。売上額は大幅に増加傾向を強め、収益は水面下を脱した。業種別では自動車整備・駐車場が大幅に好調に転じ、娯楽は大きく持ち直した。価格面では料金価格が上昇傾向を強め、材料価格は前期並の上昇が続いている。

<建設業>

業況はわずかに好感感が強まった。売上額・受注残・施工高は大幅に増加傾向を強め、前期増加に転じた収益はさらに増加幅を拡大させた。業種別では職別工事、総合工事において大幅に好感感が強まったほか、個人請負が大きく上向いた。価格面では請負価格、材料価格ともに上昇傾向を強めた。資金繰りはわずかに窮屈感を脱し、在庫は適正水準が続いている。

特別調査「中小企業における災害等への対応について」

問1 普段意識している災害

	地震	火災	風・水害 (台風・ゲリラ豪雨など)	雪害	上記以外の 自然災害	コロナなどの 感染症	国際紛争	犯罪行為 (大規模テロなど)	あまり意識 していない
全業種	70.2	47.4	24.1	0.4	0.9	29.4	3.5	2.2	13.6
製造業	65.6	42.2	25.6	-	1.1	31.1	4.4	3.3	16.7
小売業	67.3	52.7	21.8	1.8	1.8	30.9	3.6	1.8	10.9
サービス業	62.5	33.3	16.7	-	-	33.3	4.2	4.2	25.0
建設業	80.0	48.6	34.3	-	-	25.7	-	-	11.4

問2 災害への備え(現在の備えの自己評価と実際に遭遇した際の評価)

	現在の備えの自己評価				実際に遭遇した際の評価				
	できている	どちらかという とできている	どちらかという とできていない	できていない	できていた	どちらかという とできていた	どちらかという とできていなかった	できていなかった	災害にあった ことがない
全業種	11.8	51.3	24.1	12.7	6.1	31.6	24.1	7.5	26.8
製造業	6.7	54.4	31.1	7.8	5.6	28.9	32.2	8.9	22.2
小売業	18.2	41.8	21.8	18.2	10.9	34.5	14.5	14.5	21.8
サービス業	8.3	50.0	16.7	25.0	-	41.7	12.5	4.2	41.7
建設業	17.1	54.3	14.3	14.3	8.6	28.6	20.0	-	31.4

問3 事業継続にかかる保険の加入状況

	加入している(内容)			加入していない(その理由)					災害保険に 加入している かどうか わからない
	財産補償、 休業補償の 両方に加入	財産補償 のみ加入	休業補償 のみ加入	保険料が 高い	補償内容が 狭い	災害保険に ついてよく わからない	保険金額が 低い	自社には必 要ない(災 害時損失額 が低い等)	
全業種	19.0	20.4	2.7	17.3	1.3	11.1	0.9	11.1	16.4
製造業	15.7	20.2	-	19.1	-	15.7	1.1	13.5	14.6
小売業	22.2	14.8	3.7	18.5	3.7	7.4	-	9.3	20.4
サービス業	20.8	16.7	4.2	16.7	-	8.3	-	12.5	20.8
建設業	14.3	28.6	5.7	5.7	-	14.3	2.9	8.6	20.0

問4 建物の耐震状況とハザードマップの確認状況

	建物の耐震状況					ハザードマップの確認状況			
	できている	どちらか という とでき ている	どちらか という とでき ていな い	できて いな い	わから ない	確認し て、大 きな問 題はな かつた	確認し て問 題があ り、対 策を取 った	確認し て問 題があ ったが 対策は 取って いな い	確認し てい ない
全業種	15.8	39.5	18.4	7.5	18.9	46.9	5.7	18.4	28.9
製造業	12.2	40.0	23.3	5.6	18.9	43.3	6.7	16.7	33.3
小売業	14.5	41.8	12.7	14.5	16.4	50.9	3.6	20.0	25.5
サービス業	16.7	29.2	16.7	8.3	29.2	37.5	4.2	16.7	41.7
建設業	22.9	42.9	8.6	5.7	20.0	51.4	5.7	22.9	20.0

問5 現預金の保有状況と災害対策金融支援の利用状況について

	現預金の保有状況						災害対策金融支援の利用状況			
	売上の3か 月以上	売上の1~ 3か月分	売上の2週 間分~1か 月分	売上の2週 間未満	ほとんど 保有して いな い	把握して いな い	コロナ禍 の時に受 けたこと がある	自然災害 の時に受 けたこと がある	コロナ禍 自然災害 の両方に 受けたこ とがある	受けたこ とが ない
全業種	24.7	31.3	19.8	6.2	5.7	12.3	44.9	2.6	1.3	50.7
製造業	21.1	28.9	20.0	6.7	8.9	14.4	50.0	4.4	-	45.6
小売業	25.5	29.1	20.0	9.1	3.6	12.7	36.4	1.8	5.5	56.4
サービス業	29.2	29.2	20.8	4.2	4.2	12.5	25.0	-	-	75.0
建設業	25.7	37.1	20.0	2.9	5.7	8.6	57.1	-	-	42.9

本調査についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

東京都北区地域振興部産業振興課

TEL:03(5390)1234 FAX:03(5390)1141

刊行物登録番号

6-2-011